

# 長良川・感謝・DAY 2009

## の報告

去る7月5日（日）に、“長良川感謝DAY”という川遊びのイベントを行いました。例年は、上流のキャンプ場を貸切り1泊2日で行うのですが、今年は諸般の事情により岐阜市内にて1DAYとなりました。

内容は、ラフティング・魚とり・カヌー体験・火おこし体験・ストーンペインティング・ライフジャケットをつけて川を流れるカップの川流れなどでした。

イベントに参加された方、手伝ってくれた方、私たちを楽しませてくれた長良川、本当にありがとうございました。

では、当日の様子を写真やコメントで紹介していきたいと思います。



今回のイベントは、「NPO 法人 JpSART 中部」との共催でした。ライフジャケットを着け、川で楽しく安全に遊ぶことを多くの皆様に広めたいという思いもありました。毎年夏になると水辺での事故のニュースが報道され、心を痛めます。





火おこし体験は二人一組でやるのがコツです。  
親子のコミュニケーションにぴったり！！



ストーンペインティングの美女3人組。作品は誰かの誕生日  
プレゼントにするらしい……。 ホントかなあ？



最年少参加の0歳児U君です。  
去年は、ママのおなかの中で参加していました。



「私にも釣れました〜！！」と  
釣り初心者のお母さん。  
そうです。長良川の魚はやさしいんです。



「ぷはあっ————！  
チョー気持ちいい！！」



広い河原は、まったりしているだけで  
とても気分がいいもんです。



心配しないで下さい。温まっているだけです。  
「お嫁に行けなくなるので、顔は写さないで～」と言っていました。



森林アカデミーの学生さん達が  
たくさん手伝いに来てくれました。

(感謝)



火おこし体験のプログラムを始めて  
苦節三年。初めて着火した瞬間です。  
このお父さんには、「着火マン1号」と  
命名させていただきます。

火をおこすという原始的な行為が、老いも若きも夢中にさせてしまう。



お〜い、魚どこだ？魚、魚、魚。





芸術は、意外と地味だ・・・

これこそが、日本の夏の正しい風景です。



大漁、大漁。ピース×2。



大の大人が、水のかげ合い。でも、それが意外と楽しい。  
そう思うと、楽しいと言うことは大人気ないということかもしれない。

この子たちの視線の先には、どんな未来が映っているのだろう。



#### 《編集後記》

先日、長良川の上流にラフトに行ってきました。メンバーは、常連5人にゲスト(初心者)が2人という構成。

当日は、天気・水量・水の透明度ともに最高のコンディションで、ゲストに長良川の洗礼を浴びてもらうには絶好の日和でした。

とある瀬で見事に落とされたゲストは、怖がるどころか、とても気持ち良さそうに流されて行きました。

すると、それをきっかけに我も我もと、みなが自主的に川に飛び込みましたので。いつしか船は「そして誰もいなくなった」でした。

これこそが、長良川の実力です。

気持ち良さそうに流れるみな笑顔を見ていたら「この川はやっぱり宝の川だ」と、あらためて強く思いました。

来年また、みなさんとこの川でお会いできるのを今から楽しみにしています。